



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成23年11月7日

上場会社名 三井製糖株式会社 上場取引所 東・大
コード番号 2109 URL <http://www.mitsui-sugar.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 飯田 雅明 (TEL) 03 (3663) 3111
問合せ先責任者 (役職名) 業務本部経営企画部長 (氏名) 津田 琢哉 配当支払開始予定日 平成23年12月2日
四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日
四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績（平成23年4月1日～平成23年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	40,600	1.5	2,622	△41.5	3,367	△31.9	594	△80.1
23年3月期第2四半期	39,986	2.1	4,485	30.8	4,940	35.2	2,985	33.3

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 582百万円 (△81.2%) 23年3月期第2四半期 3,105百万円 (－%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
24年3月期第2四半期	4	44	—	—
23年3月期第2四半期	22	22	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
24年3月期第2四半期	69,448		51,822		73.4
23年3月期	71,538		52,132		71.7

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 50,968百万円 23年3月期 51,310百万円

2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末		期末		合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
23年3月期	—	—	3	00	—	—	4	00	7	00
24年3月期	—	—	3	00	—	—	—	—	—	—
24年3月期（予想）	—	—	—	—	—	—	4	00	7	00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	81,800	1.3	4,880	△22.5	6,600	△5.2	2,700	△33.1	20	14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名 —)、除外 — 社 (社名 —)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	24年3月期 2 Q	141,667,400株	23年3月期	141,667,400株
② 期末自己株式数	24年3月期 2 Q	8,310,810株	23年3月期	7,323,153株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	24年3月期 2 Q	134,036,343株	23年3月期 2 Q	134,356,233株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による急激な落ち込みに対し、サプライチェーンの立て直しや各種政策効果もあって、やや持ち直しつつありましたが、後半にきて欧州債務問題に起因する急激な円高や海外経済の失速を受け、回復速度は緩やかなものとなりました。国内食品業界においても個人消費が低迷する中、穀物やエネルギーなど資源高の影響を受け厳しい状況となりました。また、先行きについても震災以前からのデフレ傾向や厳しい雇用情勢に加えて電力供給の制約など原発事故の影響も懸念され、依然として厳しい状況が継続すると思われま

セグメントの概況は以下の通りであります。

(砂糖事業)

砂糖事業におきましては、原料面ではタイやブラジルの増産見通しなどを背景に5月初旬まで下落局面が続いた海外粗糖相場が、ブラジルの生産伸び悩みなどにより反転し7月下旬まで上昇を続ける展開となり、その後世界的な景気減速懸念から商品市場も崩れ一時下落しましたが、8月下旬よりブラジル生産量の大幅な下方修正の見通しから再度上昇するなど、総じて期を通じて海外粗糖相場が高水準かつ動きの激しい状況にあり、コスト圧迫要因となりました。

売上高としては国内販売価格水準の上昇を背景に前年同期を上回る結果ではありますが、震災により工場生産設備に一部被害を受けたことなどから販売量は前年同期を下回りました。

生産面では、第1四半期では被災した生産体制の早期の復旧、第2四半期では原発事故の影響に伴う節電対応や省エネ活動に努めましたが、原油相場が高水準で推移したことにより燃料費が悪化いたしました。

なお、第2四半期においてリテール向けに「1/2三温糖250g」など機能性アイテム4商品の新発売を行い、またプロモーション活動としてイベントの開催や消費者キャンペーンを実施いたしました。

以上の結果、砂糖事業の売上高は36,398百万円、営業利益は2,010百万円となりました。

期中の砂糖市況

国内市中相場（日本経済新聞掲載、東京上白大袋1kg当たり）

始値189～190円 高値189～190円 安値185～186円 終値185～186円

海外粗糖相場（ニューヨーク砂糖当限、1ポンド当たり）

始値27.11セント 高値31.85セント 安値20.40セント 終値26.03セント

(食品素材事業)

食品素材事業におきましては、主にガーデニアン色素の水産加工品向け販売量が増加するなど色素事業が牽引し、パラチノース[®]やエキス事業の輸出販売減少分を補完したことにより、売上高は3,525百万円、営業利益は227百万円と前年同期並の業績となりました。

(不動産事業)

不動産事業におきましては、賃料相場の低迷等、厳しい環境となる中、引き続き社有不動産の効率的活用に努めた結果、不動産事業の売上高は676百万円、営業利益は385百万円となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は40,600百万円（前年同期比1.5%増）、営業利益は2,622百万円（前年同期比41.5%減）となりました。

営業外損益においては、受取ロイヤリティー 224百万円を計上したこと、またタイ国関係会社の堅調な業績から持分法による投資利益383百万円を計上したことなどにより、経常利益は3,367百万円（前年同期比31.9%減）となりました。

特別損益においては、生産性の向上を目的とした生産拠点の見直しを検討し、平成23年11月7日開催の取締役会において、平成24年9月末をもって岡山工場における精製糖生産を終了し、神戸工場へ生産集約することについて決議したことに伴い、減損損失2,009百万円を計上したことなどにより四半期純利益は594百万円（前年同期比80.1%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

〔連結財政状態の変動状況〕

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末比2,090百万円減少し69,448百万円となりました。連結貸借対照表の主要項目ごとの主な増減要因等は次の通りであります。

①流動資産

流動資産は、前連結会計年度末比1,048百万円減少し20,973百万円となりました。これは主として、受取手形及び売掛金の増加244百万円、商品及び製品の増加454百万円、原材料及び貯蔵品の増加398百万円があった一方で、現金及び預金の減少1,957百万円等があったことによるものであります。

②固定資産

固定資産は、前連結会計年度末比1,042百万円減少し48,475百万円となりました。これは主として、有形固定資産等の取得による増加があった一方で、減損損失及び減価償却による減少等があったことによるものであります。

③負債

負債は、前連結会計年度末比1,780百万円減少し17,625百万円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金の減少344百万円、未払金の減少317百万円、未払費用の減少433百万円、繰延税金負債の減少466百万円、未払法人税等の減少213百万円等があったことによるものであります。

④純資産

純資産は、前連結会計年度末比310百万円減少し51,822百万円となりました。これは主として、四半期純利益594百万円、剰余金の配当538百万円、自己株式取得351百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の業績予想につきましては、生産性の向上を目的とした生産拠点の見直しを検討し、平成23年11月7日開催の取締役会において、平成24年9月末をもって岡山工場における精製糖生産を終了し、神戸工場へ生産集約することについて決議し、また当該決議に伴い固定資産の減損損失を計上したことなどにより前回公表値を以下のとおり修正しております。本日別途開示しております「業績予想との差異および業績予想の修正に関するお知らせ」「岡山工場における精製糖生産終了に関するお知らせ」を併せてご覧下さい。

平成24年3月期通期見通し

売上高	81,800百万円 (前期比 1.3%増)
営業利益	4,880百万円 (" 22.5%減)
経常利益	6,600百万円 (" 5.2%減)
当期純利益	2,700百万円 (" 33.1%減)

(参考) 個別業績予想

平成24年3月期通期見通し

売上高	76,600百万円 (前期比 1.7%増)
営業利益	4,540百万円 (" 23.3%減)
経常利益	5,430百万円 (" 11.0%減)
当期純利益	1,680百万円 (" 50.3%減)

2. サマリー情報 (その他) に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,458	3,500
受取手形及び売掛金	4,488	4,732
商品及び製品	4,085	4,539
仕掛品	1,709	1,578
原材料及び貯蔵品	5,438	5,836
繰延税金資産	548	522
その他	302	273
貸倒引当金	△10	△11
流動資産合計	22,021	20,973
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	24,077	23,847
減価償却累計額	△16,118	△16,349
建物及び構築物(純額)	7,958	7,497
機械装置及び運搬具	39,453	38,738
減価償却累計額	△32,269	△32,662
機械装置及び運搬具(純額)	7,183	6,075
工具、器具及び備品	1,619	1,616
減価償却累計額	△1,343	△1,330
工具、器具及び備品(純額)	275	286
土地	19,682	18,906
リース資産	44	50
減価償却累計額	△15	△20
リース資産(純額)	28	30
建設仮勘定	1,045	1,827
有形固定資産合計	36,174	34,624
無形固定資産		
無形固定資産合計	55	215
投資その他の資産		
投資有価証券	12,336	12,642
長期貸付金	59	53
繰延税金資産	129	139
その他	781	818
貸倒引当金	△19	△19
投資その他の資産合計	13,287	13,634
固定資産合計	49,517	48,475
資産合計	71,538	69,448

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,382	6,038
短期借入金	—	1,000
1年内返済予定の長期借入金	1,324	540
リース債務	8	9
未払費用	2,566	2,133
未払法人税等	1,330	1,116
未払消費税等	31	169
役員賞与引当金	68	25
その他	1,074	852
流動負債合計	12,786	11,886
固定負債		
長期借入金	1,185	1,035
リース債務	21	22
繰延税金負債	1,216	750
退職給付引当金	1,792	1,668
資産除去債務	56	56
長期預り保証金	1,022	970
その他	1,324	1,235
固定負債合計	6,619	5,739
負債合計	19,406	17,625
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,083	7,083
資本剰余金	1,254	1,255
利益剰余金	46,081	46,134
自己株式	△2,566	△2,914
株主資本合計	51,851	51,558
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	171	144
繰延ヘッジ損益	0	△10
為替換算調整勘定	△713	△723
その他の包括利益累計額合計	△541	△589
少数株主持分	821	854
純資産合計	52,132	51,822
負債純資産合計	71,538	69,448

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	39,986	40,600
売上原価	30,320	32,769
売上総利益	9,666	7,831
販売費及び一般管理費		
配送費	1,181	1,235
役員賞与引当金繰入額	33	23
退職給付引当金繰入額	74	75
その他	3,891	3,873
販売費及び一般管理費合計	5,180	5,208
営業利益	4,485	2,622
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	51	54
受取ロイヤリティー	0	224
持分法による投資利益	446	383
雑収入	47	186
営業外収益合計	547	850
営業外費用		
支払利息	15	12
固定資産除却損	15	31
雑損失	60	61
営業外費用合計	91	106
経常利益	4,940	3,367
特別利益		
合理化対策事業助成金収入	44	61
特別利益合計	44	61
特別損失		
固定資産圧縮損	44	61
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	33	—
減損損失	—	2,009
投資有価証券評価損	9	—
災害による損失	—	25
特別損失合計	88	2,096
税金等調整前四半期純利益	4,897	1,332
法人税、住民税及び事業税	1,821	1,139
法人税等調整額	45	△439
法人税等合計	1,866	699
少数株主損益調整前四半期純利益	3,030	632
少数株主利益	44	37
四半期純利益	2,985	594

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,030	632
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△80	△21
繰延ヘッジ損益	△0	△3
持分法適用会社に対する持分相当額	156	△25
その他の包括利益合計	75	△49
四半期包括利益	3,105	582
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,061	545
少数株主に係る四半期包括利益	44	37

- (3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

- (4) セグメント情報等
(セグメント情報)

- I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	砂糖事業	食品素材 事業	不動産事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	35,509	3,745	732	39,986	—	39,986
セグメント間の内部売上高又は振替高	18	0	36	55	△55	—
計	35,527	3,745	768	40,041	△55	39,986
セグメント利益	3,858	207	418	4,485	—	4,485

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	砂糖事業	食品素材 事業	不動産事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	36,398	3,525	676	40,600	—	40,600
セグメント間の内部売上高又は振替高	25	—	29	55	△55	—
計	36,424	3,525	706	40,656	△55	40,600
セグメント利益	2,010	227	385	2,622	—	2,622

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報
(固定資産に係る重要な減損損失)

「砂糖事業」セグメントにおいて、岡山市南区に所在する岡山工場の精製糖生産設備について、資産グループの回収可能価額を著しく低下させる変化が生ずる見込みとなったため、減損損失2,009百万円を計上しております。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

当社は平成23年11月7日開催の取締役会において、平成24年9月末をもって当社生産拠点の1つである岡山工場(岡山市南区)における精製糖生産を終了し、神戸工場へ生産集約することを決議いたしました。

(1) 岡山工場における精製糖生産終了の理由

当社は、第3次中期経営計画の中で、コスト、品質・サービス、商品開発力及び人材の優位性等を確立することに取り組んで参りましたが、我が国における砂糖消費量の漸減傾向が続く中、低稼働率を余儀なくされている神戸・岡山の2工場の精製糖生産を集約することで、一層のコスト削減と人材資源の活用等を図ることいたしました。

また神戸工場につきましては、現在進行中のグラニュー糖設備更新工事に加えまして、生産効率性の追求と品質向上を目的とした2,143百万円の追加設備投資を実施する計画にしております。

(2) 岡山工場の概要

- ①所在地：岡山県岡山市南区
- ②事業内容：主として精製糖の生産
- ③敷地面積：約84,000㎡
- ④従業員数：62名(平成23年9月末)
- ⑤生産実績：14,143百万円(平成23年3月期 販売価格換算)

(3) 精製糖生産終了の時期(予定)

- ①精製糖生産終了の時期：平成24年9月
- ②従業員の処遇につきましては、原則として配置転換を予定しております。

(4) 精製糖生産終了が営業活動等へ及ぼす影響

岡山工場における精製糖生産を神戸工場へ集約するため、今後の営業活動等へ及ぼす影響は軽微であります。